

経済産業省 令和7年度補正「グローバルサウス未来志向型共創等事業」 日本企業向けアンケート

調査実施主体 実施主体：経済産業省 通商政策局 貿易振興課
委託先：ポストン・コンサルティング・グループ合同会社

お問い合わせ先 Mail:GlobalsouthGeneral@bcg.com

経済産業省 令和7年度補正「グローバルサウス未来志向型共創等事業」 日本企業向けアンケート調査ご協力をお願い

平素より大変お世話になっております。突然のご連絡にて失礼いたします。

このたび、海外展開に取り組まれている日本企業の皆様を対象として、グローバルサウス諸国における事業活動の実態や課題について広くお伺いするため、貴社にご連絡させていただきました。本アンケート調査は、経済産業省が実施する「令和7年度補正グローバルサウス未来志向型共創等事業」の一環として、同省の委託を受け、ポストン・コンサルティング・グループ合同会社が実施するものです。

本調査では、グローバルサウス諸国における制度面・環境面での課題や改善ニーズに加え、海外投資による収益の活用（再投資、国内投資、資金還元等）の実態についてお伺いし、今後の政策検討に活用するための基礎資料とすることを目的としております。

ご多忙のところ誠に恐縮ではございますが、本調査の趣旨をご理解いただき、何卒ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、経済産業省ではグローバルサウス未来志向型共創等事業補助事業者の募集として、日本企業が実施する大型実証、小規模実証・FS等にかかる費用の一部を支援しています。同事業のパンフレットを同封いたしますので、ご関心のある方は是非応募をご検討ください。

【回答時間の目安】

本アンケートの回答時間は平均10分程度です。

ご回答内容によっては、5～20分程度お時間を要する場合がございます。

【回答期限】2026年6月19日（金）

推奨環境について

アンケートにお答えいただくには下記の環境が必要です。

SmartPhone/Tablet

Android5以降の標準ブラウザ
Google Chromeブラウザ
iOS9以降の標準ブラウザ

PC

Microsoft Edge 最新版
Firefox 最新版
Chrome 最新版
Safari 最新版

その他設定、プラグインについて

- JavaScriptを有効にしてください。
- Cookieを有効（受け入れる）にしてください。

アンケート内で知り得た情報について

※本調査の結果は、経済産業省が今後の貿易振興施策を企画・立案するため、貴重な情報として適切に利用させていただきます。回答結果は、特徴的な事例について個別のヒアリング対象を選定するために利用し、回答した企業・事業者が特定されるような形で公表されることはありません。

個人情報、および回答の取り扱いについて

当アンケートでご回答いただいた内容は、法令、および調査主体会社のプライバシーポリシーに基づき処理されます。

調査票サンプル

* 本アンケートは途中保存に対応しておりません。あらかじめご了承ください。

* 回答内容はこちらから事前にご確認いただけますので、あらかじめ内容をご確認のうえご回答いただけますと幸いです。

[アンケートサンプル](#)

上記に同意の上、アンケートに回答する

Q1 貴社の「法人番号」をご入力ください。法人番号がご不明な場合は、以下URLより検索・確認ください： <https://info.gbiz.go.jp/>

Q2 貴社の2025年度の売上高を、日本/海外（海外事業所または海外法人）別に、お答えください。

国内売上高 百万円

海外売上高 百万円

Q3 貴社のおおよその従業員数を、日本/海外別に、お答えください。

国内従業員数 人

海外従業員数 人

Q4 グローバルサウス（GS）諸国へのビジネス進出（既存展開先の業容拡大も含む）にあたり、展開先（国・地域）がどの程度具体的に決まっているかについて、最も近いものを1つお選びください。※対象国に該当するか判断に迷う場合は事務局までお問い合わせください。

具体的な国まで決まっている

国は未確定だが、検討している地域はある

国・地域ともに未確定だが、グローバルサウス（GS）諸国への展開に関心がある

現時点では検討していない

次へ

Q5

(Q4で「具体的な国まで決まっている」と回答した方) 貴社が海外で事業を展開している、または今後展開を検討している国・地域のうち、売上規模、投資規模、または今後の事業拡大の観点から特に重要度が高いと考えられるグローバルサウス (GS) 国をご記入ください。

1カ国

2カ国

3カ国

国①

国②

国③

次へ

Q6

Q4で「国は未確定だが、検討している地域はある」または「GS諸国への展開に関心がある」と回答した方) 海外展開先として検討している、または関心のある地域について、最も重要視している地域をお選びください。

ASEAN

南西アジア

中東

アフリカ

中南米

その他 (自由記述)

Q7

国①において、現在貴社が担っている主要な事業分野について、当てはまるものをすべてお選びください

AI・半導体

造船

量子

合成生物学・バイオ

航空・宇宙

デジタル・サイバーセキュリティ

コンテンツ（アニメ・ゲーム等）

フードテック

資源・エネルギー安全保障・GX（脱炭素）

防災・国土強靱化

創薬・先端医療

核融合（フュージョンエネルギー）

マテリアル（重要鉱物・素材）

港湾・ロジスティクス

防衛産業

情報通信（次世代通信・光電融合など）

海洋（海洋資源・海洋データなど）

その他（自由記述）

Q8

国①における事業展開の方法について、当てはまるものをすべてお選びください。

- 日本からの輸出を中心に事業を展開している／検討している
- 現地に販売拠点（現地法人等）を設置している／検討している
- 現地に製造拠点を設置している／検討している
- 現地企業との合弁会社（JV）により事業を展開している／検討している
- 現地代理店・販売パートナーを通じて事業を展開している／検討している
- 駐在員事務所を設置している／検討している
- その他（自由記述）

Q9

国①における現在の事業の位置付けについて、最も近いものを1つお選びください

- 売上の中核となる重要市場として位置付けている
- 今後の成長が期待される市場として位置付けている
- 試験的・限定的に事業を展開している段階にある
- 現時点では重要性は高くない

Q10

国①における今後の事業展開の規模感について、想定する売上規模で最も近いものを1つお選びください。

100億円以上

50億円以上～100億円未満

10億円以上～50億円未満

5億円以上～10億円未満

1億円以上～5億円未満

1億円未満

未定／検討中

Q11

（任意）2030年までの想定について、可能な範囲で具体的にご記入ください。（記入例：売上増加額：3000百万円程度、累積投資額：1000～2000百万円規模、現地雇用数：100名程度）

売上増加額（対現状） 百万円

累積投資額（CAPEX・出資等含む） 百万円

現地雇用数（増加人数） 人

Q12 国①における事業運営において、現在課題となっている領域について、最も当てはまるものをお選びください。

- 人材（採用・育成・定着等に関する課題）
- モノ・サービス（製造・品質・パートナー・物流等に関する課題）
- 資金（資金調達・送金・為替等に関する課題）
- 情報（市場情報・制度情報・ネットワーク等に関する課題）
- 制度（規制・税制・行政手続等に関する課題）

Q13 前問において「人材」を選択された方にお伺いします。国①における人材面の課題として、当てはまるものをすべてお選びください。

- 必要なスキル・経験を持つ人材を採用できない
- 採用した人材が短期間で離職してしまう
- 現地でマネジメントを担える人材が不足している
- 業務に必要な専門スキルを持つ人材が不足している
- 言語・文化の違いにより円滑な業務運営が難しい
- その他（自由記述）

Q14

前問において「モノ・サービス」を選択された方にお伺いします。国①におけるモノ・サービスに関する課題として、当てはまるものをすべてお選びください。

信頼できる現地パートナーが見つからない

パートナーの品質や対応力にばらつきがある

サプライチェーンが不安定である

原材料や部品の安定調達が難しい

インフラが未整備のため、輸送や製造に時間やコストがかかる

その他（自由記述）

Q15

前問において「資金」を選択された方にお伺いします。国①における資金面の課題として、当てはまるものをすべてお選びください。

現地金融機関からの資金調達が困難である

資金回収や投資採算の見通しが不透明である

親会社からの資金送金に制約がある

配当や利益の本国還流に制約がある

為替変動リスクが大きい

その他（自由記述）

Q16

前問において「情報」を選択された方にお伺いします。国①における情報面の課題として、当てはまるものをすべてお選びください。

市場規模・需要動向に関する信頼できる情報が不足している

制度・規制の内容や運用に関する情報が不足している

信頼できる現地企業・パートナーに関する情報が不足している

その他（自由記述）

Q17

前問において「制度」を選択された方にお伺いします。課題は、主にどの事業フェーズにおいて発生していますか。該当するものをすべてお選びください。

進出検討・戦略策定の段階

参入段階（法人設立・許認可取得等）

立上げ・初期運営の段階

事業拡大の段階

その他（自由記述）

Q18

国①における制度面の課題として、当てはまるものをすべてお選びください。

市場参入に関する制度（外資規制、投資条件、参入許認可など）

事業運営に関する制度（税制、労働法制、送金規制など）

製品サービスに関する制度（標準化、認証、データ規制など）

サプライチェーンに関する制度（通関、関税、輸出管理など）

その他（自由記述）

Q19

前問で選択された制度面の課題について、具体的な内容をご記入ください。（例：対象となる制度・規制の内容、どのような場面で課題が発生しているか、どのような点が問題となっているか 等）

次へ

Q20

国②において、現在貴社が担っている主要な事業分野について、当てはまるものをすべてお選びください

AI・半導体

造船

量子

合成生物学・バイオ

航空・宇宙

デジタル・サイバーセキュリティ

コンテンツ（アニメ・ゲーム等）

フードテック

資源・エネルギー安全保障・GX（脱炭素）

防災・国土強靱化

創薬・先端医療

核融合（フュージョンエネルギー）

マテリアル（重要鉱物・素材）

港湾・ロジスティクス

防衛産業

情報通信（次世代通信・光電融合など）

海洋（海洋資源・海洋データなど）

その他（自由記述）

Q21

国②における事業展開の方法について、当てはまるものをすべてお選びください。

日本からの輸出を中心に事業を展開している／検討している

現地に販売拠点（現地法人等）を設置している／検討している

現地に製造拠点を設置している／検討している

現地企業との合弁会社（JV）により事業を展開している／検討している

現地代理店・販売パートナーを通じて事業を展開している／検討している

駐在員事務所を設置している／検討している

その他（自由記述）

Q22

国②における現在の事業の位置付けについて、最も近いものを1つお選びください

売上の中核となる重要市場として位置付けている

今後の成長が期待される市場として位置付けている

試験的・限定的に事業を展開している段階にある

現時点では重要性は高くない

Q23

国②における今後の事業展開の規模感について、想定する売上規模で最も近いものを1つお選びください。

 100億円以上

 50億円以上～100億円未満

 10億円以上～50億円未満

 5億円以上～10億円未満

 1億円以上～5億円未満

 1億円未満

 未定／検討中

Q24

（任意）国②における2030年までの想定について、可能な範囲で具体的にご記入ください。（記入例：売上増加額：3000百万円程度、累積投資額：1000～2000百万円規模、現地雇用数：100名程度）

売上増加額（対現状） 百万円

累積投資額（CAPEX・出資等含む） 百万円

現地雇用数（増加人数） 人

Q25

国②における事業運営において、現在課題となっている領域について、最も当てはまるものをお選びください。

 人材（採用・育成・定着等に関する課題）

 モノ・サービス（製造・品質・パートナー・物流等に関する課題）

 資金（資金調達・送金・為替等に関する課題）

 情報（市場情報・制度情報・ネットワーク等に関する課題）

 制度（規制・税制・行政手続等に関する課題）

Q26

前問において「人材」を選択された方にお伺いします。国②における人材面の課題として、当てはまるものをすべてお選びください。

- 必要なスキル・経験を持つ人材を採用できない
- 採用した人材が短期間で離職してしまう
- 現地でマネジメントを担える人材が不足している
- 業務に必要な専門スキルを持つ人材が不足している
- 言語・文化の違いにより円滑な業務運営が難しい
- その他（自由記述）

Q27

前問において「モノ・サービス」を選択された方にお伺いします。国②におけるモノ・サービスに関する課題として、当てはまるものをすべてお選びください。

- 信頼できる現地パートナーが見つからない
- パートナーの品質や対応力にばらつきがある
- サプライチェーンが不安定である
- 原材料や部品の安定調達が難しい
- インフラが未整備のため、輸送や製造に時間やコストがかかる
- その他（自由記述）

Q28

前問において「資金」を選択された方にお伺いします。国②における資金面の課題として、当てはまるものをすべてお選びください。

現地金融機関からの資金調達が困難である

資金回収や投資採算の見通しが不透明である

親会社からの資金送金に制約がある

配当や利益の本国還流に制約がある

為替変動リスクが大きい

その他（自由記述）

Q29

前問において「情報」を選択された方にお伺いします。国②における情報面の課題として、当てはまるものをすべてお選びください。

市場規模・需要動向に関する信頼できる情報が不足している

制度・規制の内容や運用に関する情報が不足している

信頼できる現地企業・パートナーに関する情報が不足している

その他（自由記述）

Q30

前問において「制度」を選択された方にお伺いします。課題は、主にどの事業フェーズにおいて発生していますか。該当するものをすべてお選びください。

進出検討・戦略策定の段階

参入段階（法人設立・許認可取得等）

立上げ・初期運営の段階

事業拡大の段階

その他（自由記述）

Q31

国②における制度面の課題として、当てはまるものをすべてお選びください。

市場参入に関する制度（外資規制、投資条件、参入許認可など）

事業運営に関する制度（税制、労働法制、送金規制など）

製品サービスに関する制度（標準化、認証、データ規制など）

サプライチェーンに関する制度（通関、関税、輸出管理など）

その他（自由記述）

Q32

前問で選択された制度面の課題について、具体的な内容をご記入ください。（例：対象となる制度・規制の内容、どのような場面で課題が発生しているか、どのような点が問題となっているか等）

次へ

Q33

国③において、現在貴社が担っている主要な事業分野について、当てはまるものをすべてお選びください

AI・半導体

造船

量子

合成生物学・バイオ

航空・宇宙

デジタル・サイバーセキュリティ

コンテンツ（アニメ・ゲーム等）

フードテック

資源・エネルギー安全保障・GX（脱炭素）

防災・国土強靱化

創薬・先端医療

核融合（フュージョンエネルギー）

マテリアル（重要鉱物・素材）

港湾・ロジスティクス

防衛産業

情報通信（次世代通信・光電融合など）

海洋（海洋資源・海洋データなど）

その他（自由記述）

Q34

国③における事業展開の方法について、当てはまるものをすべてお選びください。

- 日本からの輸出を中心に事業を展開している／検討している
- 現地に販売拠点（現地法人等）を設置している／検討している
- 現地に製造拠点を設置している／検討している
- 現地企業との合弁会社（JV）により事業を展開している／検討している
- 現地代理店・販売パートナーを通じて事業を展開している／検討している
- 駐在員事務所を設置している／検討している
- その他（自由記述）

Q35

国③における現在の事業の位置付けについて、最も近いものを1つお選びください

- 売上の中核となる重要市場として位置付けている
- 今後の成長が期待される市場として位置付けている
- 試験的・限定的に事業を展開している段階にある
- 現時点では重要性は高くない

Q36

国③における今後の事業展開の規模感について、想定する売上規模で最も近いものを1つお選びください。

 100億円以上

 50億円以上～100億円未満

 10億円以上～50億円未満

 5億円以上～10億円未満

 1億円以上～5億円未満

 1億円未満

 未定／検討中
Q37

（任意）国③における2030年までの想定について、可能な範囲で具体的にご記入ください。（記入例：売上増加額：3000百万円程度、累積投資額：1000～2000百万円規模、現地雇用数：100名程度）

売上増加額（対現状） 百万円

累積投資額（CAPEX・出資等含む） 百万円

現地雇用数（増加人数） 人

Q38

国③における事業運営において、現在課題となっている領域について、最も当てはまるものをお選びください。

 人材（採用・育成・定着等に関する課題）

 モノ・サービス（製造・品質・パートナー・物流等に関する課題）

 資金（資金調達・送金・為替等に関する課題）

 情報（市場情報・制度情報・ネットワーク等に関する課題）

 制度（規制・税制・行政手続等に関する課題）

Q39

前問において「人材」を選択された方にお伺いします。国③における人材面の課題として、当てはまるものをすべてお選びください。

- 必要なスキル・経験を持つ人材を採用できない
- 採用した人材が短期間で離職してしまう
- 現地でマネジメントを担える人材が不足している
- 業務に必要な専門スキルを持つ人材が不足している
- 言語・文化の違いにより円滑な業務運営が難しい
- その他（自由記述）

Q40

前問において「モノ・サービス」を選択された方にお伺いします。国③におけるモノ・サービスに関する課題として、当てはまるものをすべてお選びください。

- 信頼できる現地パートナーが見つからない
- パートナーの品質や対応力にばらつきがある
- サプライチェーンが不安定である
- 原材料や部品の安定調達が難しい
- インフラが未整備のため、輸送や製造に時間やコストがかかる
- その他（自由記述）

Q41

前問において「資金」を選択された方にお伺いします。国③における資金面の課題として、当てはまるものをすべてお選びください。

現地金融機関からの資金調達が困難である

資金回収や投資採算の見通しが不透明である

親会社からの資金送金に制約がある

配当や利益の本国還流に制約がある

為替変動リスクが大きい

その他（自由記述）

Q42

前問において「情報」を選択された方にお伺いします。国③における情報面の課題として、当てはまるものをすべてお選びください。

市場規模・需要動向に関する信頼できる情報が不足している

制度・規制の内容や運用に関する情報が不足している

信頼できる現地企業・パートナーに関する情報が不足している

その他（自由記述）

Q43

前問において「制度」を選択された方にお伺いします。課題は、主にどの事業フェーズにおいて発生していますか。該当するものをすべてお選びください。

進出検討・戦略策定の段階

参入段階（法人設立・許認可取得等）

立上げ・初期運営の段階

事業拡大の段階

その他（自由記述）

Q44

国③における制度面の課題として、当てはまるものをすべてお選びください。

市場参入に関する制度（外資規制、投資条件、参入許認可など）

事業運営に関する制度（税制、労働法制、送金規制など）

製品サービスに関する制度（標準化、認証、データ規制など）

サプライチェーンに関する制度（通関、関税、輸出管理など）

その他（自由記述）

Q45

前問で選択された制度面の課題について、具体的な内容をご記入ください。（例：対象となる制度・規制の内容、どのような場面で課題が発生しているか、どのような点が問題となっているか 等）

次へ

Q46

検討地域において、将来的に貴社が展開を検討している事業分野について、当てはまるものをすべてお選びください

AI・半導体

造船

量子

合成生物学・バイオ

航空・宇宙

デジタル・サイバーセキュリティ

コンテンツ（アニメ・ゲーム等）

フードテック

資源・エネルギー安全保障・GX（脱炭素）

防災・国土強靱化

創薬・先端医療

核融合（フュージョンエネルギー）

マテリアル（重要鉱物・素材）

港湾・ロジスティクス

防衛産業

情報通信（次世代通信・光電融合など）

海洋（海洋資源・海洋データなど）

その他（自由記述）

Q47

検討地域における事業展開の方法について、当てはまるものをすべてお選びください。

日本からの輸出を中心に事業を展開している／検討している

現地に販売拠点（現地法人等）を設置している／検討している

現地に製造拠点を設置している／検討している

現地企業との合弁会社（JV）により事業を展開している／検討している

現地代理店・販売パートナーを通じて事業を展開している／検討している

駐在員事務所を設置している／検討している

その他（自由記述）

Q48

検討地域に対する現時点での位置付けとして、最も近いものを1つお選びください

売上の中核となる重要市場として位置付けている

今後の成長が期待される市場として位置付けている

試験的・限定的に事業を展開している段階にある

現時点では重要性は高くない

Q49

検討地域にあたり今後の事業展開の規模感について、最も近いものを1つお選びください。

100億円以上

50億円以上～100億円未満

10億円以上～50億円未満

5億円以上～10億円未満

1億円以上～5億円未満

1億円未満

未定／検討中

Q50

(任意) 検討地域にあたり2030年までの想定について、可能な範囲で具体的にご記入ください。
(記入例：売上増加額：3000百万円程度、累積投資額：1000～2000百万円規模、現地雇用数：100名程度)

売上増加額（対現状） 百万円

累積投資額（CAPEX・出資等含む） 百万円

現地雇用数（増加人数） 人

Q51

検討地域への進出を検討するにあたり、懸念・課題と感じている領域について、最も当てはまるものをお選びください。

人材（採用・育成・定着等に関する課題）

モノ・サービス（製造・品質・パートナー・物流等に関する課題）

資金（資金調達・送金・為替等に関する課題）

情報（市場情報・制度情報・ネットワーク等に関する課題）

制度（規制・税制・行政手続等に関する課題）

Q52

前問で「人材」を選択された方にお伺いします。想定される人材面の課題について、当てはまるものをすべてお選びください。

- 必要なスキル・経験を持つ人材を採用できない
- 採用した人材が短期間で離職してしまう
- 現地でマネジメントを担える人材が不足している
- 業務に必要な専門スキルを持つ人材が不足している
- 言語・文化の違いにより円滑な業務運営が難しい
- その他（自由記述）

Q53

前問で「モノサービス」を選択された方にお伺いします。想定されるモノサービス面の課題について、当てはまるものをすべてお選びください。

- 信頼できる現地パートナーが見つからない
- パートナーの品質や対応力にばらつきがある
- サプライチェーンが不安定である
- 原材料や部品の安定調達が難しい
- インフラが未整備のため、輸送や製造に時間やコストがかかる
- その他（自由記述）

Q54

前問で「資金」を選択された方にお伺いします。想定される資金面の課題について、当てはまるものをすべてお選びください。

現地金融機関からの資金調達が困難である

資金回収や投資採算の見通しが不透明である

親会社からの資金送金に制約がある

配当や利益の本国還流に制約がある

為替変動リスクが大きい

その他（自由記述）

Q55

前問で「情報」を選択された方にお伺いします。想定される情報面の課題について、当てはまるものをすべてお選びください。

市場規模・需要動向に関する信頼できる情報が不足している

制度・規制の内容や運用に関する情報が不足している

信頼できる現地企業・パートナーに関する情報が不足している

その他（自由記述）

Q56

前問において「制度」を選択された方にお伺いします。制度面の懸念があると感じる事業フェーズについて、当てはまるものをすべてお選びください。

進出検討・戦略策定の段階

参入段階（法人設立・許認可取得等）

立上げ・初期運営の段階

事業拡大の段階

その他（自由記述）

Q57

想定される制度面の課題として、当てはまるものをすべてお選びください。

市場参入に関する制度（外資規制、投資条件、参入許認可など）

事業運営に関する制度（税制、労働法制、送金規制など）

製品サービスに関する制度（標準化、認証、データ規制など）

サプライチェーンに関する制度（通関、関税、輸出管理など）

その他（自由記述）

Q58

前問で選択された制度面の課題について、具体的な内容をご記入ください。（例：対象となる制度・規制の内容、どのような場面で課題が発生しているか、どのような点が問題となっているか等）

次へ

Q59

貴社における海外事業全般に関して、お聞きいたします。海外事業で得られた収益の主な活用方法として、当てはまるものをすべてお選びください。

配当等により本社へ還元している

日本国内の投資に活用している

日本国内の新規雇用に活用している

日本国内の賃上げ・ボーナスに活用している

現地での再投資を中心としている

Q60

海外事業の拡大に伴う、日本国内の事業への影響として当てはまるものをお選びください。国内法人の雇用（従業員数）についてお聞かせ下さい。

選択してください ▼

選択してください

増加/増加予定

変化なし

減少/減少予定

該当なし/わからない

Q61

海外事業の拡大に伴う、日本国内の事業への影響として当てはまるものをお選びください。国内における投資（設備・R&D等）についてお聞かせ下さい。

選択してください ▼

選択してください

増加/増加予定

変化なし

減少/減少予定

該当なし/わからない

次へ

Q62

※本設問の前に、同封のGS補助金概要資料または<https://gs-hojo-web.jp/>をご確認ください。経済産業省が実施している「グローバルサウス（GS）関連の補助金・支援制度」について、ご存知でしたか。また、活用を検討されましたか。

- 内容も含めてよく知っており、応募した
- 内容も含めてよく知っており、検討したが応募しなかった
- 内容も含めてよく知っているが、検討しなかった
- 名前は知っているが、内容は詳しく知らない
- 知らなかった

Q63

（「検討したが応募していない」「検討したことがない」と回答した方）活用に至っていない理由について、当てはまるものをすべてお選びください。

- 制度の内容や対象要件が分かりにくい
- 自社の事業が対象ではない
- 自社の事業が対象になるか判断できない
- 応募手続きが煩雑であると感じた
- 応募に必要な情報が十分に得られなかった
- 社内での検討優先度が低かった
- 事業展開のスピードを優先した
- 次年度に応募することにした
- その他（自由記述）

Q64

上記のGS補助金制度を踏まえ、貴社としての活用意向として最も近いものをお選びください。

今後、積極的に活用したい

条件が合えば活用を検討したい

現時点では活用する予定はない

分からない

Q65

GS諸国への海外展開に関して、経済産業省やGS補助金事務局に相談したいと考える事業案件はありますか。

具体的に検討している案件がある

まだ構想段階の案件だが、補助事業の対象となるか相談したい

まだ構想段階のため、現時点での相談は不要

現時点では特にない

Q66

(前問で「案件がある」と回答した方) グローバルサウス (GS) 諸国展開に関して検討している事業案件について、可能な範囲でご記入ください。(※現時点で具体化していない内容でも構いません)

事業テーマ

展開先地域

事業規模

億円 (※概算金額 (例: 〇億円) でご記入下さい)

事業詳細

次へ

Q67

これまでご回答いただいた内容を踏まえ、海外事業の円滑な実施・拡大に向けて、国（日本政府）に対して期待する支援や改善を求める点がございましたらご記入ください。

次へ

Q68

アンケートへのご回答、誠にありがとうございました。ご回答内容について確認をさせていただく場合がございます。つきましては、ご回答者様の連絡先を入力ください。

ご所属

お名前

電話番号

メールアドレス

Q69

ご回答結果を踏まえて、特徴的な事例を収集するためにインタビューを行う場合がございます。インタビューは30分～1時間程度を想定しており、受託のご意向をお聞かせください。

インタビューを受託可能

インタビューを受託不可

Q70

また、GS補助金案件や関連したイベントなどに関するご案内を差し上げる場合がございます。ご案内のご意向をお聞かせください。

案内を受け取る

案内を受け取らない

次へ

経済産業省 令和7年度補正「グローバルサウス未来志向型共創等事業」日本企業向けアンケート

ご回答いただき、ありがとうございます。